

介護助手の活用状況

- 介護助手を活用している施設は**37施設(64%)**であり、平均雇用人数は約**3.5人**であった
- 約**95%**の施設が導入目的に「**介護職員の業務量負担軽減**」を挙げており、**8割**を超える施設がその目的を達成できている。一方、**ケアの質向上**など、**改善効果が薄い**項目もある

介護助手の活用拡大可能性

- 洗濯や掃除等の非専門職業務の**外部委託**を利用していない施設も多い
- 現在介護助手がいない施設(21施設)のうち**8割**に**介護助手導入意向**がある
- 介護助手に期待する業務は、専門知識やスキルが不要な業務ばかりでなく、**軽微なスキルが求められる業務**や**見守り・コミュニケーション**も含まれる


課題・懸念点

- 介護助手を活用していない施設は、**事前準備～募集・採用～教育・育成～定着支援**に至るまで多岐に渡って課題感を持っている。“何をしたらいいかわからない”との声も聞かれた
- 特に、**募集・採用および教育・育成**は、介護助手の導入有無に関わらず多くの施設が課題視しており、行政や外部支援機関等に期待する支援として挙げていた

施設向けアンケート | 回答概要(回答数)

- 全58施設からの回答を得た。回収率は**48.3%**だった

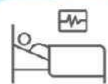
施設種別	調査票A (介護助手有)	調査票B (介護助手無)
地域密着型 介護老人福祉施設	3	4
介護老人福祉施設	26	11
介護老人保健施設	8	6
計	37	21
総計	58(回収率:48.3%)	

<p>取組名</p>	<p>ICT・介護ロボット等を活用できる専門人材の育成 (施設系介護サービスにおける介護ロボット等を活用した職場改善の推進)</p>																						
<p>目的</p>	<p>介護現場において業務改善手法「北九州モデル」を効果的に実践するため、介護ロボット等を活用できる専門人材を育成する。</p>																						
<p>内容</p>	<p>○介護ロボットマスター育成講習の開催 令和5年度は、実践編の充実を図り、実機を用いた体験講座の1開催あたりの体験機器数を倍増させることで、より多くの機器に触れる機会を創出した。また、介護施設だけでなく、ICT・介護ロボットの活用が見込める障害者関係施設（療育センターや支援施設など）にも受講対象を拡大した。 ・実践編は4分野の機器（見守り支援、介護業務支援、移乗支援、アシストスーツ）を対象に座学講座を開催。加えてメーカー講師による実機体験を、各回で実施。</p> <table border="1" data-bbox="392 909 1434 1476"> <thead> <tr> <th></th> <th>入門編（初級編）</th> <th>実践編（中級編）</th> <th>管理編（上級編）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象</td> <td>介護現場に従事する全職員</td> <td>運用管理を行う現場リーダー</td> <td>施設全体の管理者</td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>機器等を活用する意義の理解及び基本的な知識の修得</td> <td>適切な機器選定及び効果的に活用する知識の修得</td> <td>機器等の導入・運用を管理、職場全体の作業効率を高める</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>基礎知識、導入効果取り巻く社会情勢、北九州モデル紹介</td> <td>機器の選定、活用方法と効果、業務標準化、4分野の機器解説及びメーカーによる実機体験</td> <td>機器活用を含めた業務改善の意義・目的・ゴール設定、先行事例の紹介</td> </tr> <tr> <td>形態</td> <td>動画配信(Youtube)</td> <td>座学講座+実機体験</td> <td>オンライン (Zoom)</td> </tr> </tbody> </table>				入門編（初級編）	実践編（中級編）	管理編（上級編）	対象	介護現場に従事する全職員	運用管理を行う現場リーダー	施設全体の管理者	目標	機器等を活用する意義の理解及び基本的な知識の修得	適切な機器選定及び効果的に活用する知識の修得	機器等の導入・運用を管理、職場全体の作業効率を高める	内容	基礎知識、導入効果取り巻く社会情勢、北九州モデル紹介	機器の選定、活用方法と効果、業務標準化、4分野の機器解説及びメーカーによる実機体験	機器活用を含めた業務改善の意義・目的・ゴール設定、先行事例の紹介	形態	動画配信(Youtube)	座学講座+実機体験	オンライン (Zoom)
	入門編（初級編）	実践編（中級編）	管理編（上級編）																				
対象	介護現場に従事する全職員	運用管理を行う現場リーダー	施設全体の管理者																				
目標	機器等を活用する意義の理解及び基本的な知識の修得	適切な機器選定及び効果的に活用する知識の修得	機器等の導入・運用を管理、職場全体の作業効率を高める																				
内容	基礎知識、導入効果取り巻く社会情勢、北九州モデル紹介	機器の選定、活用方法と効果、業務標準化、4分野の機器解説及びメーカーによる実機体験	機器活用を含めた業務改善の意義・目的・ゴール設定、先行事例の紹介																				
形態	動画配信(Youtube)	座学講座+実機体験	オンライン (Zoom)																				
<p>令和5年度進捗状況及び評価</p> 	<p>【令和5年度目標の達成状況及び評価】</p> <table border="1" data-bbox="392 1579 1434 1787"> <thead> <tr> <th></th> <th>入門編</th> <th>実践編</th> <th>管理編</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催時期</td> <td>R5/6/1～11/13</td> <td>R5/6/27～10/2</td> <td>R5/11/14</td> </tr> <tr> <td>受講者数</td> <td>延べ239回視聴</td> <td>4回開催 120名</td> <td>36名</td> </tr> </tbody> </table> <p>受講数395名と順調に伸びている。講習内容についてもニーズをヒアリングしながら、より良いものに適宜改修しながら進めたい。 ・受講数推移（R1：72名、R2：129名、R3：165名、R4：229名）</p>				入門編	実践編	管理編	開催時期	R5/6/1～11/13	R5/6/27～10/2	R5/11/14	受講者数	延べ239回視聴	4回開催 120名	36名								
	入門編	実践編	管理編																				
開催時期	R5/6/1～11/13	R5/6/27～10/2	R5/11/14																				
受講者数	延べ239回視聴	4回開催 120名	36名																				
<p>令和6年度の取組</p>	<p>引き続き、本研修内容を充実させて継続実施し、専門人材を育成していく</p>																						

令和5年度 北九州市主催

# 介護ロボットマスター 育成講習

受講  
無料



受講者特典

講習内容が詳しく分かる  
手引きを全員にプレゼント

利用者のQOLやケアの質向上、介護業務の負担軽減に役立つ  
介護ロボット等を効果的に導入・活用するためのノウハウを学びます

入門 編

定員  
100名

YouTube配信

所要時間：1時間程度

機器等を活用する意義の理解および基本的な知識

実践 編

各定員  
50名



対面×4シリーズ

所要時間：2時間程度

※実践編を受講される方は入門編の事前受講をお勧めします

適切な機器選びおよび効果的に活用するための知識

管理 編

定員  
50名



Zoom

所要時間：2時間程度

※管理編を受講される方は入門編の事前受講をお勧めします

機器等の導入・運用を管理し、職場全体の作業効率を高める知識

申込

センターHPもしくは右記二次元バーコードよりお申込みください



お問  
合せ

北九州市介護ロボット等導入支援・普及促進センター（事務局：麻生教育サービス株式会社）  
TEL 093-522-5811 受付時間 9:00～17:30(土日祝除く)

【主催：北九州市保健福祉局先進的介護システム推進室】

本事業は北九州市が実施主体で麻生教育サービス株式会社が委託を受けて実施するものです

## 入門編

内容	開催日	会場
介護ロボット等に関連する社会情勢 介護ロボット等の基礎知識 介護ロボット等の導入効果 北九州モデルの紹介	6月1日 (木) ＼ 11月13日 (月)	YouTube配信  定員100名

## 実践編

内容	機器デモ	開催日	会場
機器の種類と選定 機器の活用方法及び効果 機器デモ・体験	見守り支援	ネオスケア 見守りライフ みまもりCUBE aams	6月27日 (火) 14時～16時
	介護業務支援	インカム(3機種) BlueOcean Google Workspace LINE WORKS Trello Vi-nurse	7月25日 (火) 14時～16時
	移乗支援	サラフレックス スカイリフト マキシムーブ e-carry Hug	9月12日 (火) 14時～16時
	アシストスーツ	スマートスーツ マッスルスーツ レイボエクソスケルトン J-PAS fleairy	10月2日 (月) 14時～16時
			総合保健福祉センター 2階講堂  各定員50名

## 管理編

内容	開催日	会場
介護ロボット等普及の現状と今後の展望 機器を活用した業務改善の進め方 先行事例紹介(導入した施設の声)	11月14日 (火) 14時～16時	Zoom  定員50名

実践編で総合保健福祉センター(北九州市小倉北区馬借1-7-1)へお越しの方  
車でお越しの際は近隣のコインパーキングをご利用ください